

3 社会教育活動の推進

- 平成26年に体験活動を学校全体の計画に位置づけている割合は、小学校72.7%、中学校61.9%で前年度よりも約10%増えている。
- 平成26年度に学習した成果をまちづくりやボランティア活動に生かしている地域住民の割合は、21.9%であった。
- 社会への貢献意識は、全体の66%が社会のために役立ちたいと考えており、社会福祉や自然・環境保護、町内会活動に参加している割合が高い。

(1) 子供の体験活動の推進

図 3-1-1 体験活動を学校全体の計画に位置づけている割合(道内)

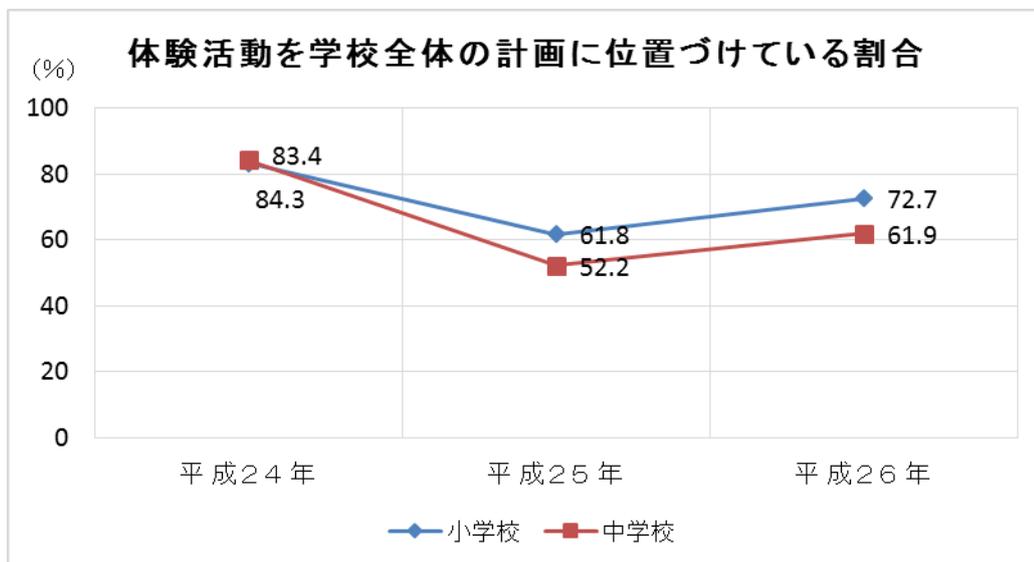
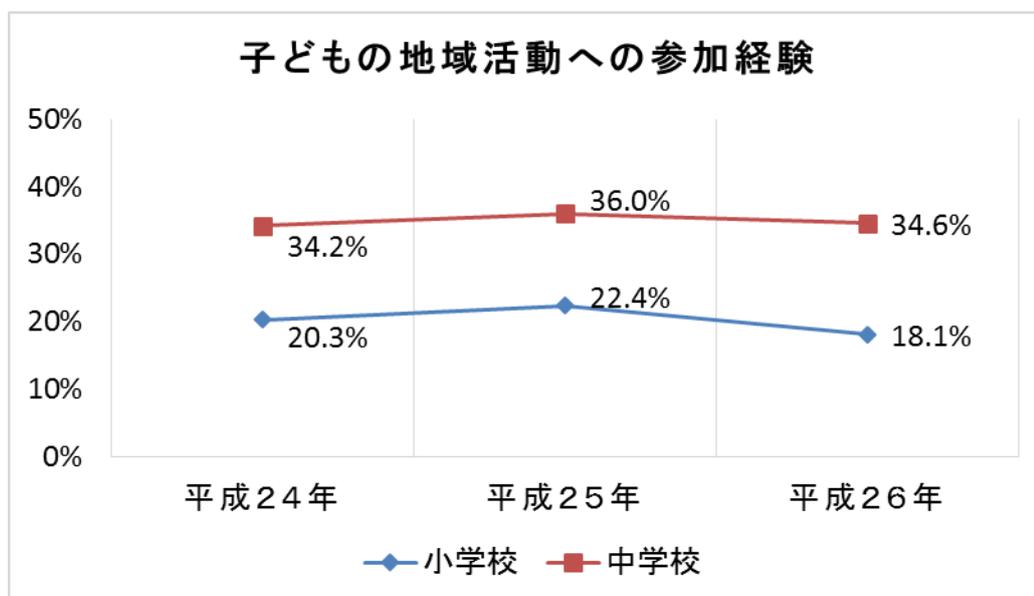


図 3-1-2 子どもの地域活動への参加経験(道内)



(2) 社会参加

図 3-2-1 学習した成果をまちづくりやボランティア活動に生かしている地域住民の割合(道内)

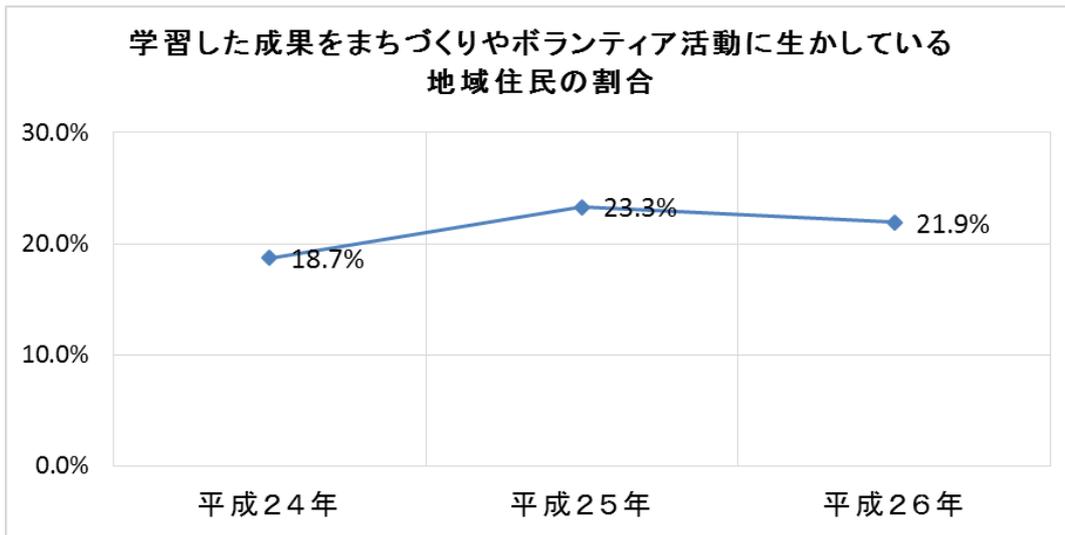


図 3-2-2 「ボランティア活動」の行動者率

図 3-2-3 「ボランティア活動」の種類別平均行動日数

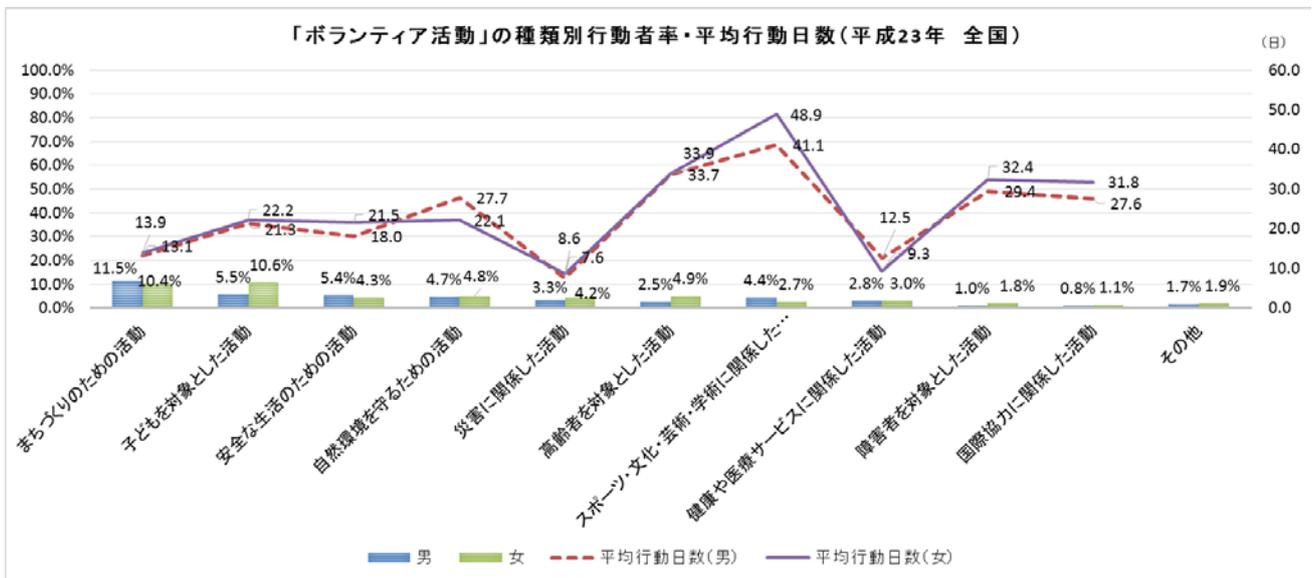


図 3-2-4 社会への貢献内容(全国)

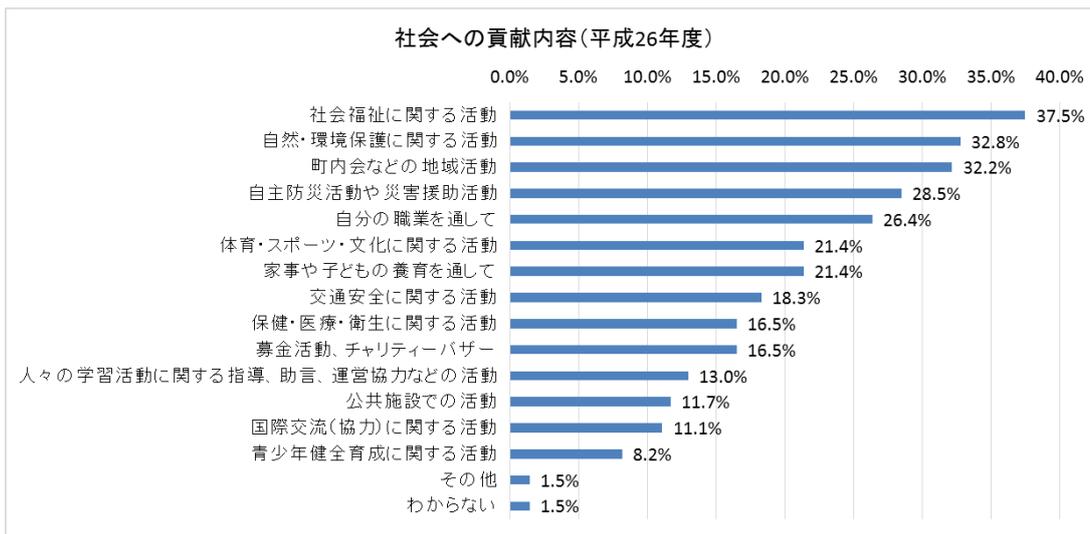


図 3-2-5 社会への貢献意識(全国)

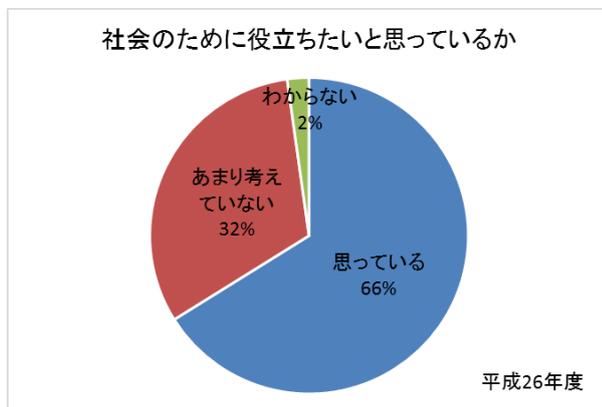
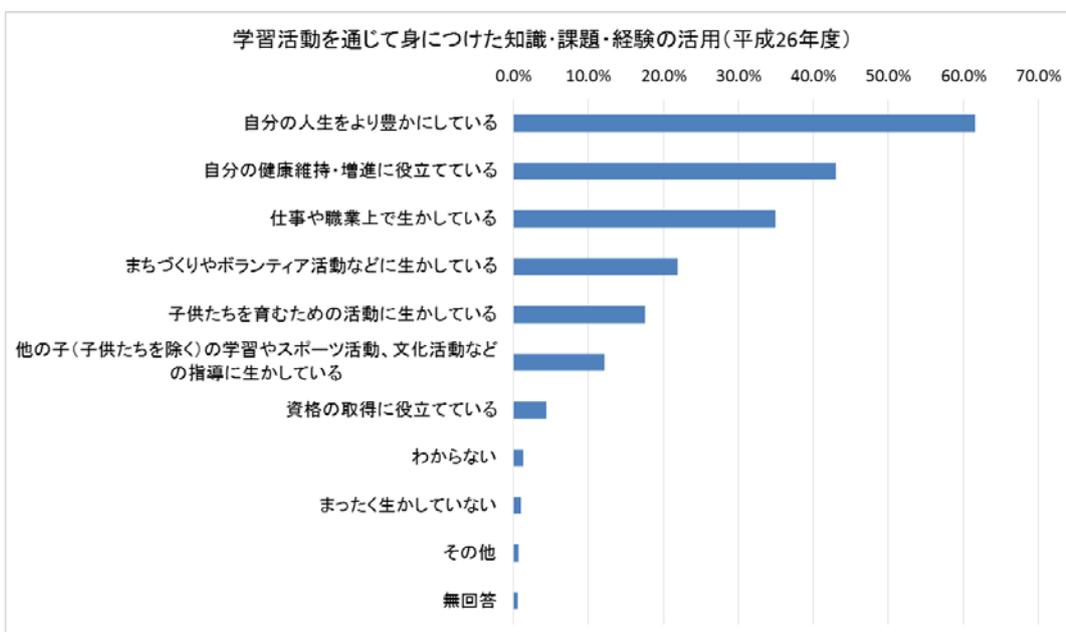


図 3-2-6 学習活動を通じて身につけた知識・課題・経験の活用(道内)



(3) 高齢者の地域参加

図 3-3-1 生きがい(全国)

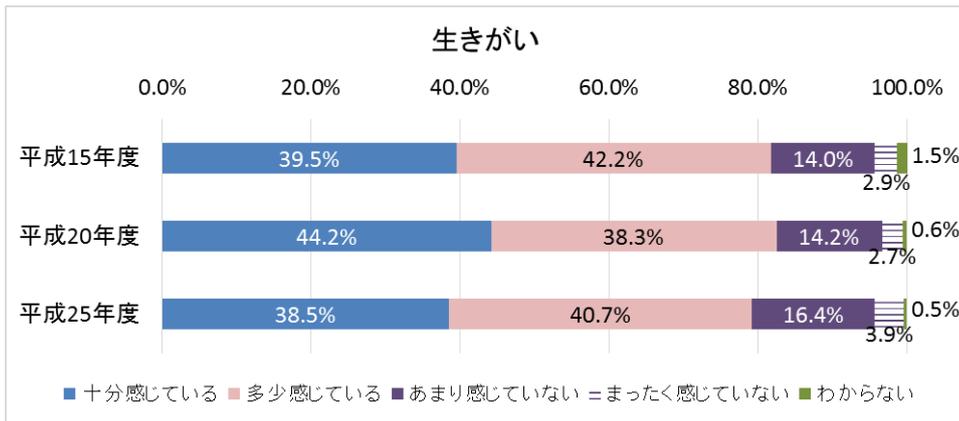


図 3-3-2 世代間交流参加状況(全国)

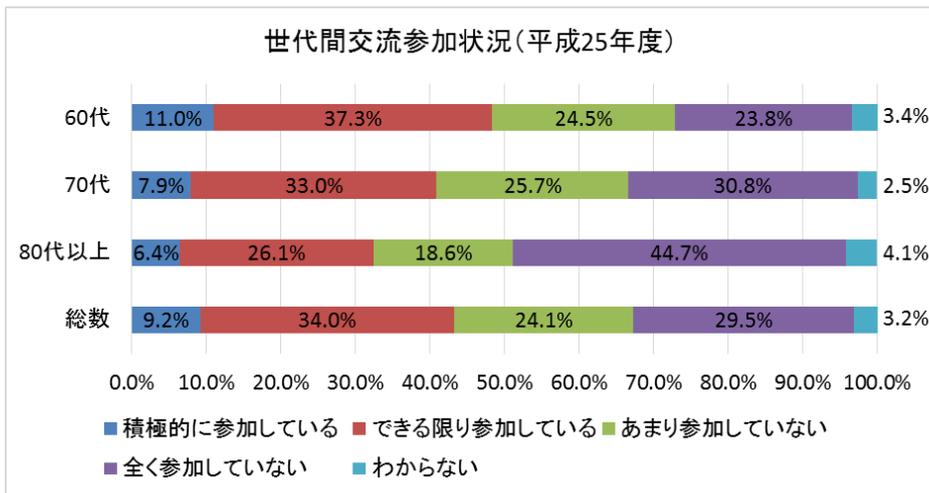


図 3-3-3 参加したい学習活動(全国)

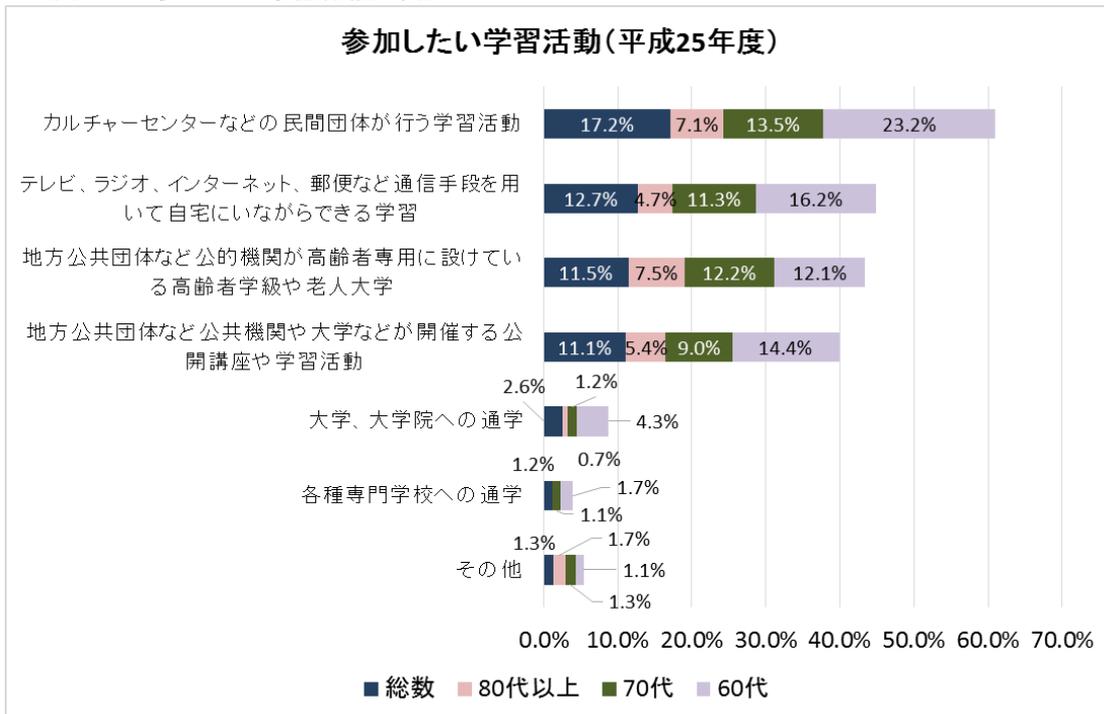


図 3-3-4 活動に参加して良かったと思うこと(全国)

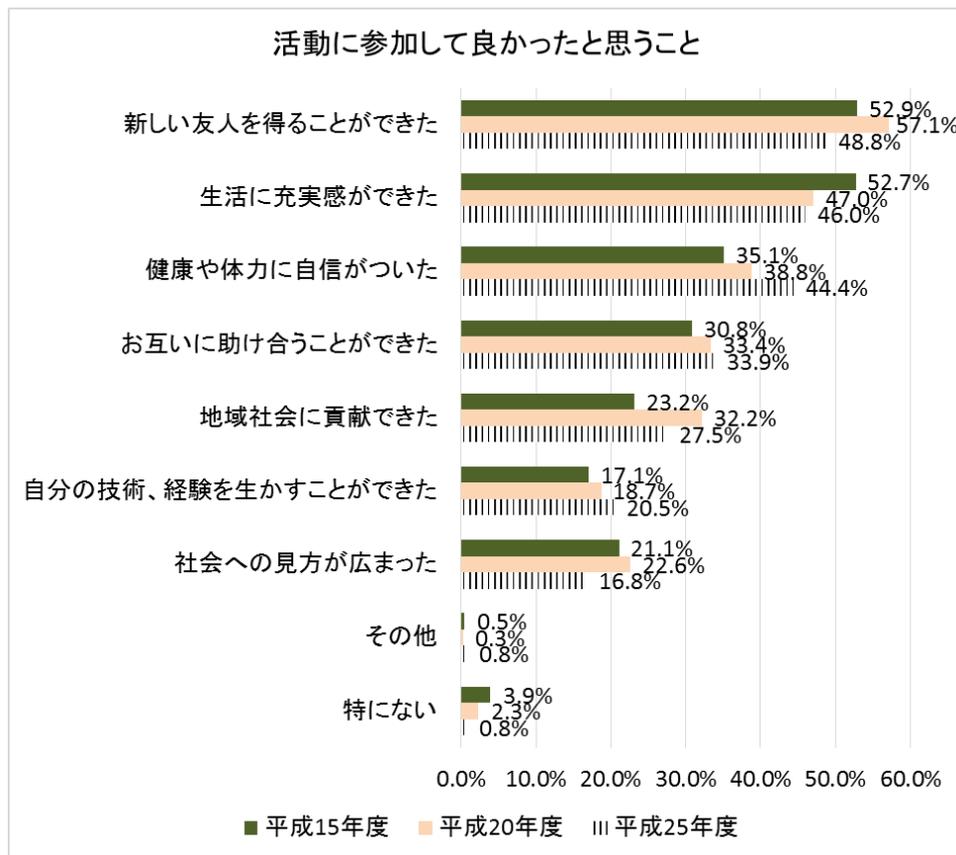


図 3-3-5 参加している学習活動(全国)

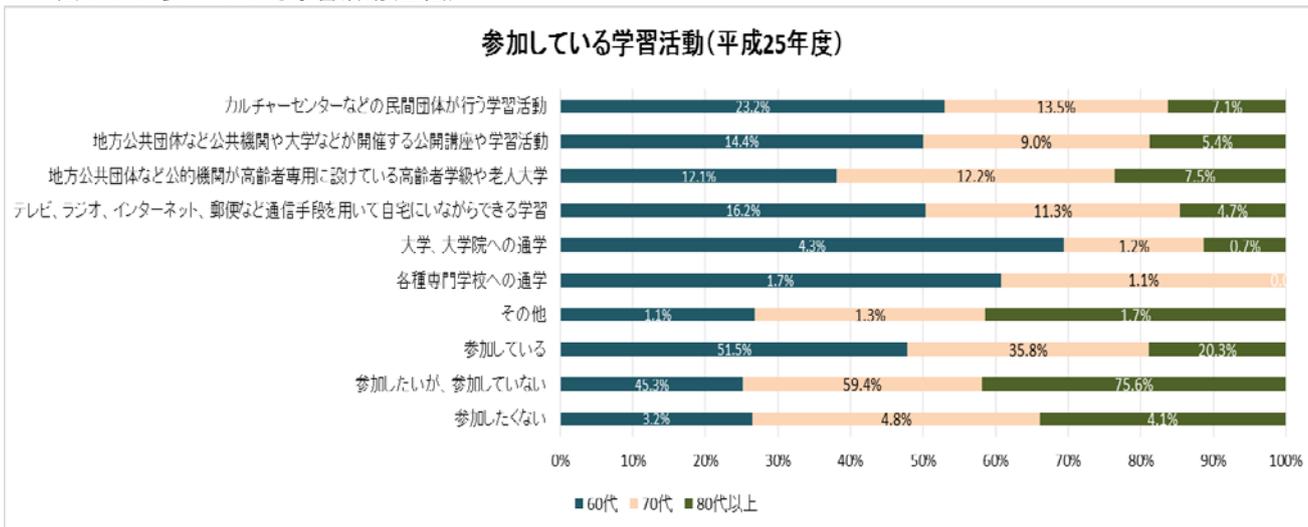


図 3-3-6 地域の奉仕活動への条件(全国)

